

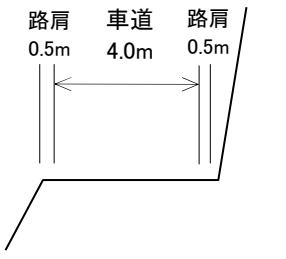
(様式3-2)事後評価シート

番号	7		事業名	道路改築		市町村名	中野市～飯山市		路河川名	(国)117号		箇所名(ふりがな)	替佐～静間(かえさ～しずま)バイパス			
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	本路線は、長野と新潟を結ぶ幹線道路である。中野市替佐～飯山市静間間の現道は、線形が悪く、幅員が狭いため、車両のすれ違いが困難で、本路線中唯一の未改良区間である。特に冬は積雪が多く、幅員がさらに狭くなることから交通事故が多発、また斜面の崩壊、落石・倒木による通行止などが頻発するなど、幹線道路としての機能が発揮されておらず、通行者の安全も脅かされている。このため、バイパス整備によりこれらの課題を解消し、円滑で安全な交通を確保すべく平成元年度に事業着手した。													事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)	評価	
	道路線形が悪く、幅員の狭隘な区間や落石危険箇所などを迂回するバイパス整備により、安全で円滑な交通を確保することを目的としている。													・自然改変面積を極力減らし、道路法面は土羽構造として緑化を図り、環境負荷を減らしている。 ・沿線上の農地、守るべき風景が健全に保たれている。 ・道路改築により生活道路としての快適性・安全性が確保されたとともに、冬期間の交通が安定的に確保されたことで、生活環境が大幅に改善された。	A	
事業目的	道路線形が悪く、幅員の狭隘な区間や落石危険箇所などを迂回するバイパス整備により、安全で円滑な交通を確保することを目的としている。													施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)	評価	
事業概要	当初工期(H10再評価時)	H1～H20	費用対効果(当初(H10再評価時))	1.8	事業費(千円)	財源内訳(千円)								③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切) ・道路パトロールを毎週1回行っており、良好な状態の確保に努めている。 ・道路が拡幅されたことにより、冬期間の除雪作業性が向上したため、きめ細やかな除雪が可能となった。 ・年1回、建設業協会等が主体となり、地域の業者による沿道美化活動が行われている。 ・年1回、交通安全環境施設協会が主体となり、地域の業者による道路標識・反射鏡の清掃ボランティアが行われている。	A
	最終工期	H1～H28	費用対効果(評価時)	1.7	上段:当初(H10再評価)/下段:最終	国庫	その他	県債	一般財源							
	当初計画内容(H10再評価時)(主な工種)	道路築造工L=7,670m W=6.5(12.75)m			9,439,000	5,191,450		3,822,795	424,755					④地域住民等の評価	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い) ○地域からの意見 ・旧国道117号は、道の幅も狭くカーブも多いため、とても危険な道路であり、更に豪雪時には車のすれ違いの困難な場所もあった。バイパスが全線開通したことにより安全な交通環境が確保され、安心して車を運転することができるようになった。また上信越自動車道へも短時間で行くことができるようになり、唱歌「ふるさと」の地、豊かな自然や歴史を広くアピールできるようになった。(国道117号バイパス北永江対策委員会委員長) ・近隣市町村へのアクセスが格段に向上して、買い物や病院に行くのに大変便利になった。(穴田区住民) ・新しく歩道が出来たので安心して友達の家遊びに行けるようになった。(替佐区児童) ・バイパス利用者が増え、道の駅や付随する商業施設の利用者が増加し、活性化している。(道の駅関係者)	A
	最終事業実績(主な工種)	道路築造工L=7,670m W=6.5(12.75)m			9,194,000	5,056,700		3,723,570	413,730							
事業期間の延長、短縮理由と分析	一部の事業用地取得に関して、用地交渉が難航し、土地収用法の事業認定、土地収用を行い、土地取得までに期間を要したため、事業期間が延長となった。													④地域住民等の評価		
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	一部区間の歩道計画について、既存の市道利用など歩行者動線を勘案し、需要の少ない区間の歩道計画を減とした。それに伴い地山改変が少なくなったことから、コストが縮減され、事業費が減となった。また、旧規格での改良済み区間を現道活用としたことで、コストが縮減され、事業費が減となった。													改善措置の必要性		
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)											評価	今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	・本事業では、一部用地取得において用地交渉が難航したため、今後の取り組みとして、事業の目的や効果を積極的に広報することで、事業に対する理解を得られるよう努める。		
	直接的効果(定量的・定性的)	○交通の利便性向上(バイパスへの交通転換により交通が分散、交通量の多い周辺路線の交通量の緩和) ・交通の転換 (旧国道117号) 3,585(台/12h)(S60交通量調査) → (国道117号BP) 6,915(台/12h)(R3交通量調査) ・周辺交通量の緩和 (国道403号 中野市吉田地区) 15,023(台/12h)(S60交通量調査) → 13,580(台/12h)(R3交通量調査) ○アクセス性向上 ・替佐～伍位野間の移動時間が5分以上短縮され、緊急輸送路として災害時の緊急車両の移動の円滑化が図られた。 ・上信越自動車道 豊田飯山インターへの一次アクセス道路として、アクセス性が向上した。 ○安全性向上 ・狭隘で急峻な区間をバイパス化したことにより線形が改良され、車両同士のすれ違いが安全にできるようになり、走行の円滑化が図られた。 ・土砂崩落に伴う通行止が無くなり、防災面での信頼性が向上した。(通行止5件(H15～H27))→0件(H28の供用以降))										A				
間接的効果(定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	○地域間の交流、商業圏拡大による経済効果 ・バイパスへの交通転換により、観光目的の車両の通行が増え、近隣で生産がされる農産物の直売取引が活性化するとともに、近隣飲食店、観光施設の利用が増加している。近接する道の駅ふるさと豊田での食堂、売店、農産物直売所利用者総数がH27で約15万1千人であったものが、R1では約17万1千人へ増加している。 ・上信越自動車道 豊田飯山インター、北陸新幹線 飯山駅へのアクセスが向上し、広域移動の円滑化が図られたことから、地域産業の活性化に繋がっている。											建設部公共事業評価委員会の意見	道路整備により、交通量や観光業に一定の効果があり、災害等による通行止めも発生していないことから、事業の目的を達成しており、地元住民からの評価も高いことから総合評価Aが妥当と判断する。	総合評価	A	
													長野県公共事業評価委員会の意見	建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。	評価監視委員会意見	妥当
															評価の決定	A

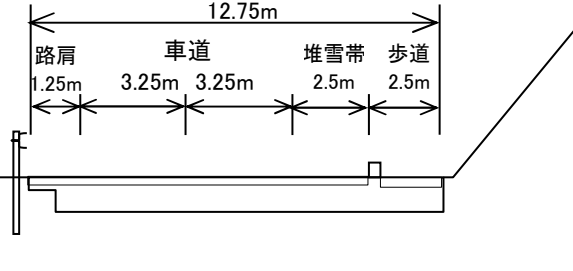
番号	7	事業名	道路改築	市町村名	中野市～飯山市	路河川名	(国)117号	箇所名(ふりがな)	替佐～静間(かえさ～しずま)バイパス
----	---	-----	------	------	---------	------	---------	-----------	--------------------



事業前の道路断面図



事業後の道路断面図



■事業前の道路状況■

すれ違い困難  
冬季における通行困難  
土砂崩落発生状況(全面通行止め)  
倒木発生状況(全面通行止め)

■事業後の道路状況■

スムーズなすれ違い  
円滑な交通の流れ

【直接効果】  
災害に伴う通行止め減少  
5件 (H15～H27) → 0件 (H28～)

地域の活性化

移動時間短縮: 13分 (旧道・国道292号) → 8分 (バイパス)

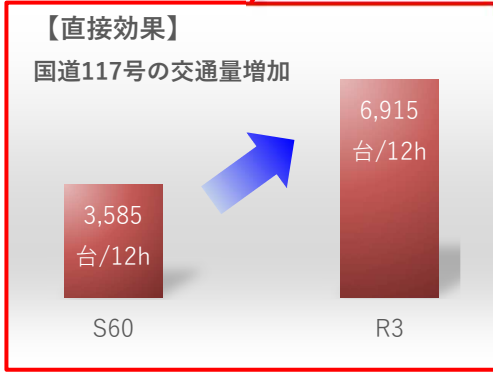
物流車両の往来増  
道の駅(地場センター)の賑わい

【間接効果】  
アクセス向上による観光施設の利用者増加  
道の駅(地場センター)利用者数の増加(道の駅から聞き取りより)  
15.1万人 (H27) → 17.1万人 (R1)

自然環境の保全

唱歌「ふるさと」の地の保全

工事に伴う自然環境、農地の改変を最小限とした



地域の皆さんの声

「国道117号バイパス(中野飯山インターチェンジ～替佐間) 開通式・開通祝賀会実行委員会」作成パンフレットより引用

長い間、地域の住民に大変不便なものとなっておりました国道117号バイパスが、地権者並びに工事関係者のご協力により、開通式が出来ます事に心からお喜び申し上げます。平成元年に着工以来、ようやく完成の日をみるに至りました。当地域全体の産業経済事業等、交通に寄与するところ誠に大なるものと確信いたします。(北永江区住民)

この地に育って、高速道路ができ、北陸新幹線が開通してだいぶ生活環境が変わりました。この国道117号バイパスが全線開通することにより、近隣市町村へのアクセスが格段に向上して、買い物や病院に行くのに大変便利になります。近くに道の駅「ふるさと豊田」があるので、たくさんの方がこの地を訪れてくださることを期待します。(穴田区住民)

今まで、飯山へ行くときは、千曲川ぞいのカーブの多い細い道を通っていたので、大きい車とかとすれちがうときはとてもこわかったけど、今度できる新しい道はすごく広いし、カーブが少ないので、こわい思いをしなくて済むことができると思います。また、新しく歩道ができたので、安心して歩道ができたので、安心して友だちの家に遊びにいけると思うので楽しみにしています。(替佐区児童)

開通式状況  
(平成28年10月21日)

渡り初め